

町ぐるみ健診を受けて、生活習慣病を防ぎましょう

平成 24 年度町ぐるみ健診の受診者は、がん検診と特定基本健診をあわせて 4,078 人でした。年代別では、男女ともに 60 歳以上が多く、若い年代の受診が少ない状況です。

がん検診の結果、9 人が「がん」または「がん疑い」と診断されています。がん以外の病気も多く発見されています。がんの発症は食生活の変化・ストレス社会・たばこ等の影響があると言われており、最近では 2 人に 1 人が一生のうちにがんと診断されています。また、若い年代でのがんの発症も見られます。

がんは、長い年月をかけて発症しますので、年 1 回がん検診を受けることで、早期発見・早期治療が可能となります。その場合、入院日数が短く、治療に係る費用も低額で、早い時期に以前の生活に戻ることができます。

特定基本健診の結果は、脂質異常、特に LDL（悪玉）コレステロールで要医療（医療機関に受診を要する）と判定された人が 25.5%、次に高血圧が 16.3%と多い状況です。これらは動脈硬化を進行させ、ねたきりの原因となる脳卒中などを引き起こしやすくなります。

自覚症状のないうちに健診を受け、常日頃から身体の状態を知ることが大切です。生活習慣を改善することで、重症な生活習慣病は予防できます。

平成 25 年度も町ぐるみ健診を土・日曜日の休日を含め 6 月から 11 月まで実施しますので、この機会を利用して、がんの早期発見や生活習慣病を予防しましょう。

申込書等、町ぐるみ健診の詳しいお知らせは、広報かさい 3 月号と共に配付します。



■がん検診等で精密検査を必要とした人数

検診項目	受診者数	要精密検査人数
骨粗しょう症	1,176 人	207 人（17.6%）
胃がん	1,485 人	141 人（ 9.5%）
前立腺がん	816 人	59 人（ 7.2%）
大腸がん	2,432 人	134 人（ 5.5%）
胸部	2,632 人	72 人（ 2.7%）
肝炎ウィルス	409 人	4 人（ 1.0%）

■特定基本健診で要医療と判定された人数

検査項目	受診者数	要医療人数
脂質	2,967 人	758 人（25.5%）
血圧	2,968 人	485 人（16.3%）
肝臓	2,967 人	147 人（ 5.0%）
貧血	2,750 人	96 人（ 3.5%）
糖尿病	2,968 人	98 人（ 3.3%）
心電図	2,460 人	79 人（ 3.2%）
腎臓	2,961 人	92 人（ 3.1%）
血清尿酸（痛風）	2,742 人	84 人（ 3.1%）
眼底	1,024 人	6 人（ 0.6%）

【問合せ】 健康課・健康係 ☎ ☎ 8723 FAX ☎ 7521 kenko@city.kasai.lg.jp

ヒブワクチンの追加接種時期が変更になりました

小児のかかる細菌性髄膜炎の半数以上の原因となる細菌「ヒブ（Hib）」による感染症を予防する、ヒブワクチンの追加接種時期が次のとおり変更になりました。下記の期間に注意して接種してください。

接種開始年齢	変更前		変更後	
	初回	追加	初回	追加
生後 2 カ月以上～7 カ月未満	4 ～ 8 週間間隔で 3 回接種	初回終了から約 1 年後に 1 回接種	4 ～ 8 週間間隔で 3 回接種	初回終了から 7 ～ 13 カ月の間 に 1 回接種
生後 7 カ月以上～12 カ月未満	4 ～ 8 週間間隔で 2 回接種	初回終了から約 1 年後に 1 回接種	4 ～ 8 週間間隔で 2 回接種	初回終了から 7 ～ 13 カ月の間 に 1 回接種
1 歳以上～5 歳未満	1 回接種		1 回接種	

※しばらくの間は 13 カ月を超えて追加接種される場合も対象となりますが、お早めに接種してください。

【問合せ】 健康課・健康係 ☎ ☎ 8723 FAX ☎ 7521 kenko@city.kasai.lg.jp

加西病院のコーナー

加西病院ホームページ <http://www.hospital.kasai.hyogo.jp>

アレルギー性鼻炎について

■アレルギー性鼻炎の季節がやってきます

アレルギー性鼻炎は多くの方の持病であり、国民病とも言われています。花粉症はアレルギー性鼻炎の一種で、花粉が原因のものを言います。2,3 月のスギの花粉症が有名ですが、これに続いてヒノキやカモガヤ、秋にはヨモギなどの花粉が飛散するため、春から秋まで花粉症の方はいます。ハウスダストやダニもアレルギー性鼻炎の原因となります。

アレルギー性鼻炎は、くしゃみ、鼻水、鼻づまりが 3 大症状で、目のかゆみも出ます。症状がそろっていれば、まずアレルギー性鼻炎と思ってよいでしょう。

血の検査をすることで、どのような抗原（原因となる物質：花粉の種類やハウスダストなど）がアレルギーを引き起こしているかがわかり、対策を立てることができます。

■飲み薬と点鼻薬について

治療は、飲み薬と点鼻薬が中心となり、近年新しい薬が多く出ており、以前より効果的な治療ができるようになりました。飲み薬の抗アレルギー薬は、眠気が出ることがあります。眠気が出ると運転や勉強などに影響が出ますので、注意が必要です。鼻の症状の重症度と、眠気の副作用のバランスを考慮しながら、当院採用の数種類の薬の中から、最適と思われる薬を選択します。強い薬を使用しても必ず眠気が出るわけではなく、最近の新しい薬は効果も強く眠気が出にくくなっています。初めは効果の強い薬から使用して、眠気が強いたら眠気の出にくい薬に変更するのも、1 つの方法だと思います。

飲み薬だけで効果がない時や中等症から重症の場合、ステロイドの点鼻薬を使用すれば、よく効きます。

この点鼻のステロイドは体内へ入り込むことが少なく、全身に対する副作用がほとんどないと言われています。これに対し、ステロイドの内服薬や注射は、ステロイドの副作用が大きな問題になるため、通常行いません。当院では原則的に、アレルギー性鼻炎に対して、ステロイドを含む内服、注射などはしていません（病気によって例外はあります）。



鼻づまりがアレルギー症状のなかで一番困っている方には、鼻づまりに対する抗アレルギー薬があり、こちらは眠気が出ません。また、鼻づまりに対して、市販の点鼻薬を頻繁に使用されている方がいますが、長期に使用されると薬剤性の鼻づまりがおこり、点鼻してもしなくても鼻がつまったままになる副作用があります。毎日点鼻するなどの頻用は好ましくありません。

■その他の新しい治療について

花粉症の場合、その花粉の飛散が始まる 2 週間前くらいから、内服治療を開始するとシーズン中の症状が軽く済むと言われています。花粉症の症状の強い人は、早めに受診して内服を開始しましょう。

新しい治療として、減感作療法やレーザー治療などがありますが、当院では行っていません。どの病院でも行っているわけではありませんので、希望される方はインターネットや電話で問い合わせをしてから受診することをお勧めします。

当院耳鼻咽喉科は、常勤医師 1 人で外来診療と、入院治療、手術を行っています。人手不足で、待ち時間が長いなど迅速な対応ができないこともありますが、ご理解のほどよろしくお願いします。

（耳鼻咽喉科部長 堅田敬太）

市立加西病院臨時職員募集(4月1日採用)

■募集職種等

職種	人数	賃金単価	資格免許
薬剤師	若干名	時間給 1,260 円～ 1,700 円 (経験年数による)	必要
看護師			
看護師(訪問看護)			
看護補助員	3 名	時間給 940 円	—

- 年 齢／ 60 歳未満
- 受付期間／ 2 月 15 日（金）までに次の書類（希望職種を明記）を下記の申込先に持参または郵送してください。
- 提出書類／市販の履歴書、該当資格免許証の写し
- 面 接 日／ 2 月下旬予定。詳細は個別にご連絡します。

【問合せ】 ☎ 675-2393 加西市北条町横尾 1 丁目 13 番地 市立加西病院総務課 ☎ ☎ 2200